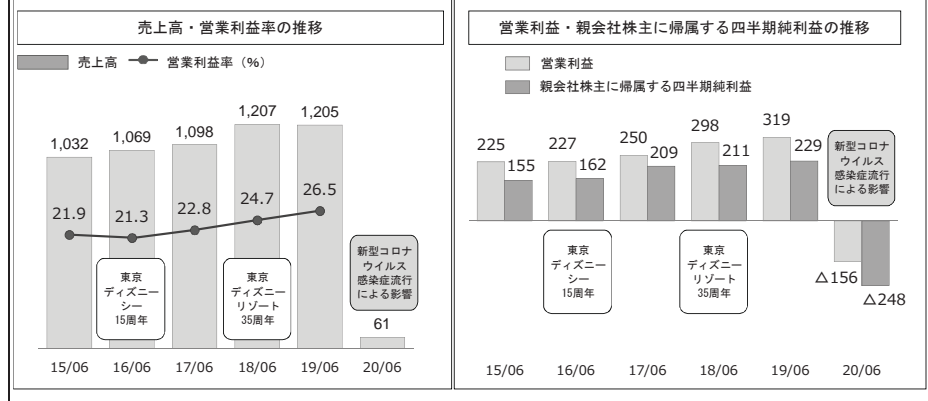


四半期連結損益計算書（第1四半期実績／前年同期）

科 目	前 年 同 期	百 分 比	当 四 半 期	百 分 比	増 減	増 減 比	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(△印減)	(%)	
売 上	120,552	100.0	6,164	100.0	△ 114,387	△ 94.9	A
テーマパーク事業	100,179	83.1	5,123	83.1	△ 95,055	△ 94.9	①
ホテル事業	16,420	13.6	147	2.4	△ 16,273	△ 99.1	②
その他の事業	3,952	3.3	893	14.5	△ 3,059	△ 77.4	③
売上原価	72,269	59.9	12,963	210.3	△ 59,306	△ 82.1	
人件費	18,975		4,176		△ 14,799		
諸経費	45,656		8,184		△ 37,472		
減価償却費	7,637		602		△ 7,034		
売上総利益	48,282	40.1	△ 6,798	△ 110.3	△ 55,081	-	
販売費及び一般管理費	16,345	13.6	8,843	143.4	△ 7,502	△ 45.9	
人件費	6,299		3,883		△ 2,416		
諸経費	8,733		4,380		△ 4,352		
減価償却費	1,312		579		△ 733		
営業利益	31,936	26.5	△ 15,641	△ 253.7	△ 47,578	-	B
テーマパーク事業	27,182	22.6	△ 11,439	△ 185.6	△ 38,622	-	④
ホテル事業	3,784	3.1	△ 3,198	△ 51.9	△ 6,982	-	⑤
その他の事業	911	0.8	△ 1,035	△ 16.8	△ 1,947	-	⑥
(消去又は全社)	57	0.0	31	0.6	△ 25	△ 44.9	
営業外収益	1,086	0.9	753	12.2	△ 332	△ 30.6	
営業外費用	260	0.2	395	6.4	134	51.8	
経常利益	32,762	27.2	△ 15,283	△ 247.9	△ 48,045	-	
特別損失	-	-	21,198	343.9	21,198	-	⑦
税金等調整前四半期純利益	32,762	27.2	△ 36,481	△ 591.8	△ 69,244	-	
法人税等	9,838	8.2	△ 11,610	△ 188.3	△ 21,449	-	
四半期純利益	22,923	19.0	△ 24,871	△ 403.5	△ 47,794	-	
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,923	19.0	△ 24,871	△ 403.5	△ 47,794	-	C

【参考】第1四半期業績の推移（連結）

(単位:億円)



四半期連結損益計算書（第1四半期実績／前年同期）

**【A. 売上高 1,143億円の減 (94.9%減)】** (単位:百万円)

項 目	前 年 同 期	当 四 半 期	増 減	増 減 比	主 な 増 減 要 因
① テーマパーク事業	100,179	5,123	△ 95,055	△ 94.9%	
アトラクション・ショー収入	46,848	3,844	△ 43,004	△ 91.8%	
商品販売収入	33,478	959	△ 32,519	△ 97.1%	・ テーマパークの臨時休園による減
飲食販売収入	18,475	1	△ 18,474	△ 100.0%	
その他の収入	1,375	319	△ 1,056	△ 76.8%	
② ホテル事業	16,420	147	△ 16,273	△ 99.1%	
ディズニーホテル ※1	14,353	26	△ 14,326	△ 99.8%	・ ホテルの臨時休館による宿泊収入の減
その他	2,067	120	△ 1,946	△ 94.2%	
③ その他の事業	3,952	893	△ 3,059	△ 77.4%	
イクスピアリ事業	1,661	419	△ 1,242	△ 74.8%	・ イクスピアリの臨時休業によるイクスピアリ事業の減
モアレーン事業	1,177	32	△ 1,144	△ 97.3%	・ テーマパークの臨時休園によるモアレーン事業の減
その他	1,113	441	△ 671	△ 60.3%	

※1 ディズニーアンバサダーホテル、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ、東京ディズニーランドホテル、東京ディズニーセレブレーションホテルを含む

**【B. 営業利益 475億円の減】** (単位:百万円)

項 目	前 年 同 期	当 四 半 期	増 減	増 減 比	主 な 増 減 要 因
④ テーマパーク事業	27,182	△ 11,439	△ 38,622	-	・ 売上高の減 ・ 人件費の減 (145億円) ・ 特別損失への振替、準社員人件費の減など ・ 諸経費の減 (69億円) ・ 特別損失への振替、販売促進費の減、スペシャルイベント関連費用の減など ・ 減価償却費の減 (88億円) ・ 特別損失への振替など
⑤ ホテル事業	3,784	△ 3,198	△ 6,982	-	・ 売上高の減 ・ 人件費の減 (23億円) ・ 特別損失への振替、労働時間の減による減など ・ 諸経費の減 (9億円) ・ 特別損失への振替、特別損失への振替など ・ 減価償却費の減 (7億円) ・ 特別損失への振替など
⑥ その他の事業	911	△ 1,035	△ 1,947	-	・ 売上高の減など

**【C. 親会社株主に帰属する四半期純利益 477億円の減】** (単位:百万円)

⑦ 特別損失の増

項 目	前 年 同 期	当 四 半 期	増 減	増 減 比	主 な 増 減 要 因
テーマパーク事業	-	19,715	19,715	-	・ 人件費の振替 (77億円) ※2 ・ 休園期間中の一部の人件費 ・ 諸経費の振替 (32億円) ・ 休園期間中の業務委託費、休園期間中の固定資産税など ・ 減価償却費の振替 (72億円) ・ 休園期間中の減価償却費 ・ 飲食売上原価の人件費 ※2、商品・原材料の廃棄など (14億円)
ホテル事業	-	1,262	1,262	-	・ 人件費の振替 (1億円) ※2 ・ 休館期間中の一部の人件費 ・ 諸経費の振替 (3億円) ・ 休館期間中の固定資産税など ・ 減価償却費の振替 (7億円) ・ 休館期間中の減価償却費
その他の事業	-	219	219	-	・ 減価償却費の振替 (1億円) ・ イクスピアリ事業の休業期間中の減価償却費など

※2 各事業における人件費の特別損失への振替額は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う雇用調整助成金として、受給が確定と見込まれる金額を合理的に算出し控除したものです。

【総括】

- 第1四半期決算の売上高および営業利益について  
対前年同期、売上高、営業利益ともに下回った。  
・ 売上高については、新型コロナウイルス感染症流行の防止のため、東京ディズニーランドおよび東京ディズニーシーの臨時休園、ディズニーホテルの臨時休館などの対応をとっていたことから、減収となりました。  
・ 営業利益については、両パークの臨時休園による営業費用の減少や、一部営業費用の特別損失への振替などがあつたものの、売上高の減少により、減益となりました。
- 第2四半期連結累計期間および通期の業績予想について  
・ 現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。第2四半期連結会計期間の集客および新型コロナウイルス感染症流行の状況等を勘案した上で合理的な業績予想を算定し、第2四半期決算発表時に開示を予定しております。

【2021年3月期テーマパークイベントについて】

東京ディズニーランドおよび東京ディズニーシーは、新型コロナウイルス感染症流行の防止に向けて、ゲスト・キャストの健康と安全の確保を最優先に、安全・安心にパークをお楽しみいただけるようするため、予定していたイベント・プログラムを中止することを決定いたしました。なお、2020年4月15日に予定していた東京ディズニーランド大規模開発エリアの開発は、両パーク再開後の状況を見て決定いたします。また、2020年6月4日～11月1日に実施を予定していた「ハッピーフェア・ウィズ・ベイマックス」については、延期して実施いたします。開業日や実施時期はあらためてお知らせいたします。